



2016年度 第23号

年報

研究機構

オープンイノベーションセンター

<ul style="list-style-type: none"> ■ オープンイノベーションセンター年間活動実績 <ul style="list-style-type: none"> 年間活動実績…………… 1 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 産学官連携推進部門の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 技術相談・外部資金受入…………… 9 企業・経済団体・官公庁・公的機関訪問件数…………… 11 埼玉県先端産業創造プロジェクト報告…………… 12 3DCAD&3Dプリンター無料研修…………… 16 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 知的財産部門の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 発明・特許件数…………… 19 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 埼玉大学産学官連携協議会の活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 研究会活動報告…………… 21 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ COICの運営と組織 <ul style="list-style-type: none"> 運営と組織…………… 25 組織図…………… 28 歴代センター長一覧…………… 29 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ ご案内 <ul style="list-style-type: none"> 技術相談について…………… 31 共同研究について…………… 32 各種イベントでのセンターPR用ポスター…………… 34 埼玉大学産学官連携協議会 紹介パンフレット…………… 35 	

年間活動実績

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等
4	12	火	14:40～ 16:00	ラーニングコモンズB	競争的研究資金の仕組みと申請のポイント 学内説明会	主	笠谷 松岡、牟田口、平本	37名参加
	21	木	14:00～ 16:00	東京電機大北千住キャンパス	PUiP 事業運営について（ホームページ改訂他）	参	松岡	
	25	月	10:00～ 11:00	209技術相談室	第1回知的財産評価委員会	主	松岡 北島、小林、笠谷	
	26	火	13:30～ 14:30	108研修室	第1回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡 小林、日下	
5	9	月	11:30～ 13:00	大宮ソニックシティカレッジ	第1回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	協 主	小林 荒井、山田	
	11	水	10:00～ 18:00	東京ビッグサイト	国際バイオテクノロジー展（～13日）	参	松岡 横田	名刺交換44名、技術相談1件
	12	木	13:30～	大宮ソニックシティ	埼玉県経営者協会総会	参	松岡 小林、荒井、山田	
	13	金	14:00～ 15:30	読売新聞ビル 201 会議室	AMED「産学連携医療イノベーション創出プログラム（ACT-M）」説明会	参	松岡 横田	
	18	水	14:40～	浦和ロイヤルパインズホテル	さいしんコラボ産学官総会	参	小林	
	18	水	13:00～ 15:20	108研修室他	埼玉福祉サービス事業者連絡会「そうべ」会員大学訪問	主	牟田口 山田	13名参加
	19	木	14:30～ 18:30	新都心ビジネス交流プラザ	第4回ロボットビジネス交流会	参	牟田口	
23	月	17:30～	大宮ソニックシティ会議室	パーソナルモビリティ普及研究会総会	参	笠谷		
24	火	9:00～ 11:00	209技術相談室	第2回知的財産評価委員会	主	松岡 北島、小林、笠谷		

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等
5	24	火	13:30～ 14:30	108研修室	第2回オープンイノベーションセンター 会議	主	松岡 小林、 日下	
	31	火	13:00～ 15:00	群馬大学荒牧キャンパス	4 u 運営協議会	主	小林 大久保	
6	2	木	9:55～ 12:00	JST東京本部別館 1Fホール	4 u 発JST製造技術分野新技術説明会	共	大久保 小林	講演教員1名、聴講計92名、名刺交換10名、個別面談2社、技術相談2件
	2	木	12:55～ 15:30	JST東京本部別館 1Fホール	4 u 発JSTライフサイエンス分野新技術説明会	共	大久保 松岡、 横田、 平本	講演教員1名、聴講計143名、名刺交換16名、個別面談5社、技術相談2件、共同研究1件
	6	月	11:30～ 12:30	大宮ソニックシティカレッジ	第2回埼玉大学産学官連携協議会運営委員会	協 主	小林 荒井、 山田	
	6	月	13:30～ 18:00	大宮ソニックシティ市民ホール	埼玉大学産学官連携協議会第17回定期総会、産学連携事例発表会	協 主	小林 センター全 員	
	7	火	14:00～ 17:00	大宮ソニックシティカレッジ	防災ビジネス研究会セミナー	協 主	山田 笠谷、 荒井	
	9	木	14:00～ 16:00	新都心ビジネス交流プラザ	BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展 展説明会	参	平本	
	15	火	16:15～ 17:30	理学部長室	日本信号第41回包括連携協議会	参	松岡	
	17	金	15:00～ 16:30	東京電機大学 北千住キャンパス	PUiP第1回運営委員会	参	松岡	
17	金	16:30～ 17:30	東京電機大学 北千住キャンパス	PUiP地域中小企業知的財産支援力強化 事業キックオフミーティング	参	松岡		
20	月	15:30～ 17:00	東天紅大宮	埼玉県中小企業団体中央会総会	参	松岡		

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等
6	27	月	13:00～ 17:20	芝浦工業大学豊洲キャンパス	イノベーション創出を促進する大学の知的財産マネジメント会議	参	松岡 石原	
	28	火	9:00～ 11:00	209技術相談室	第3回知的財産評価委員会	主	松岡 北島、 小林、 笠谷	
	28	火	13:30～ 14:30	108研修室	第3回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡 小林、 今	
7	1	金		金沢大学	PUiP輝きプロジェクトキックオフ式	参	松岡 石原	
	4	月		秩父地場産センター	FIND Chichibu 総会	参	大久保	
	11	月	14:00～ 16:45	東洋大学	第1回埼玉産学官連携推進のための大学間連絡会	主	岩佐	
	26	火	13:30～ 14:30	209技術相談室	第4回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡 小林、 今	
	26	火	9:00～ 11:00	209技術相談室	第4回知的財産評価委員会	主	松岡 北島、 小林、 笠谷	
8	1	月	14:00～ 15:00	松永建設株式会社	学生企業訪問	協	主 大久保 荒井、 山田	
	3	水	14:00～ 16:00	209技術相談室	先端産業創造プロジェクト新エネルギー分野担当者との意見交換会	県	主 岩佐 藏田	
	3	水	15:00～ 18:15	研究機構棟308室	第1回アグリビジネス研究会	研	主 大久保	
	5	金	14:30～ 17:00	研究機構棟7階大会議室	NeCST研究成果報告会	主	金子 笠谷、 山田、 平本	47名参加
	8	月	13:30～ 16:30	株式会社小金井精機製作所	学生企業訪問	協	主 笠谷 小林、 荒井、 山田	
	9	火	13:00～	信州大学工学部 SASTe c	第1回輝く地元企業応援プロジェクト(A)	参	石原 笠谷	13社のニーズに対して9シーズ提案

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等	
8	25	木	9:30～ 17:30	東京ビッグサイト 西1ホール	イノベーションジャパン2016 -大学見本市- (～26日)	参	横田	各CD、 今、平 本	出展教員9名、名 刺交換計341名、 面談9件、技術相 談8件
	30	火	9:00～ 11:00	209技術相談室	第5回知的財産評価委員会	主	松岡	北島、 小林、 笠谷	
	30	火	13:30～ 14:30	108研修室	第5回オープンイノベーションセンター会 議	主	松岡	小林、 平本	
	31	水	13:00～	富山国際会議場大 手フォーラム	第2回輝く地元企業応援プロジェクト (A)	参	石原	大久保	4社のニーズに対 してシーズ提案 なし
9	13	火	13:00～	上田市 高砂殿	第3回輝く地元企業応援プロジェクト (B)	参	石原	牟田口	9社のニーズに対 して2シーズ提案
	14	水	13:00～	T K P大宮西口カフ ァレンセンター	第4回輝く地元企業応援プロジェクト (B)	主	石原	牟田口	3社のニーズに対 して3シーズ提案
	15	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務(フリー3D-CAD & 3Dプリンター入門1回目) ～16日	主	丹保		9名参加 (市内8、市外1)
	27	火	9:00～ 11:00	209技術相談室	第6回知的財産評価委員会	主	松岡	北島、 小林、 笠谷	
	27	火	13:30～ 14:30	108研修室	第6回オープンイノベーションセンター会 議	主	松岡	小林、 日下	
	27	火	12:55～ 15:30	JST東京本部別館 1Fホール	4u発JST新技術説明会(デバイス・装置 分野)	共	大久保	松岡、 岩佐、 平本	講演教員3名、聴 講延べ282名、名 刺交換計20名、 個別面談計2社、 技術相談3件
	27	火	10:00～ 17:00	SKIPシティ	SAITECオープンラボ	参	石原		
29	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務(ミッドレンジ3D-CAD &3Dプリンター初級1回目) ～30日	主	丹保		9名参加 (市内5、市外4)	

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加		担 当		実績等
10	3	月	13:00～	富山国際会議場大 手町7フォーラム	第5回輝く地元企業応援プロジェクト (B)		参	石原	岩佐	7社のニーズに対し て1シーズ提案
	4	火	13:00～	T K P 金沢駅前カ フェンスセンター	第6回輝く地元企業応援プロジェクト (B)		参	石原	横田	6社のニーズに対し て3シーズ提案
	4	火	14:00～	リンテック株式会 社	学生企業訪問 (経済学部金子秀教授ゼミ ナール学生)		主	大久保		学生21名参加
	14	金	14:00～ 16:00	ときわ会館 5階大 ホール	BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展出展 者説明会		参	笠谷		
	20	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務 (フリー3D-CAD & 3Dプリンター入門2回目) ～21日		主	丹保		12名参加 (市内5、市外7)
	21	金	15:00～ 17:00	209技術相談室	第2回アグリビジネス研究会	研	主	大久保		
	25	火	13:30～ 14:30	108研修室	第7回オープンイノベーションセンター会 議		主	松岡	小林、 山田	
	27	木	9:00～ 10:30	209技術相談室	第7回知的財産評価委員会		主	松岡	北島、 小林、 笠谷	
	27	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務 (ミッドレンジ 3D-CAD & 3Dプリンター初級2回目) ～28日		主	丹保		8名参加 (市内5、市外3)
31	月	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務 (3D-CAD中級 機 能シミュレーション1回目) ～11月1日		主	丹保		6名参加 (市内4、市外2)	
11	2	水	13:00～	北陸先端大学マッ チングHUB	第7回輝く地元企業応援プロジェクト (A)		参	石原	笠谷	9社のニーズに対し て2シーズ提案
	9	水	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務 (3D-CAD上級 FEM解析1回目) ～10日		主	丹保		6名参加 (市内3、市外3)
	14	月	14:00～ 17:00	ソニックシティビ ル	BIZ SAITAMAさいたま市産業交流展2016 (～15日)		参	笠谷	平本	名刺交換計60名、 シーズ集配布33名

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等		
11	14	月	14:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（3Dモデルを作ってみよう研修1回目）	主	丹保			
	18	金	13:00～	T K P大宮西口カ フェセンター	第8回輝く地元企業応援プロジェクト（A）	主	石原 横田	8社のニーズに対してシーズ提案なし		
	22	火	10:30～ 11:30	108研修室	J S T産学連携バリュープログラム学内説明会	主	平本	17名参加		
	22	火	13:30～ 14:30	108研修室	第8回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡	小林、 山田、 長舟		
	24	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（フリー3D-CAD & 3Dプリンター入門3回目）～25日	主	丹保		11名参加 (市内5、市外4、 学生2)	
	28	月	13:30～ 18:00	シアター教室	第17回埼玉大学産学交流会（テクノカフェ）	協	主	小林	荒井、 山田	
	30	水	9:00～ 10:30	209技術相談室	第8回知的財産評価委員会	主	松岡	北島、 小林、 笠谷、 有馬		
12	1	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（ミッドレンジ 3D-CAD & 3Dプリンター初級3回目）～2日	主	丹保		12名参加 (市内5、市外7)	
	5	月	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（3D-CAD中級 機能シミュレーション2回目）～6日	主	丹保		11名参加 (市内4、市外7)	
	9	金	14:00～ 16:30	NTT武蔵野研究開 発センター	「NTT武蔵野研究開発センター」特別見学会/ 学生企業訪問	協	主	笠谷	小林、 山田	
	14	水	15:00～ 18:45	豊島区生活産業プ ラザ大会議室	産学連携ネットワーク会議	参	小林			
	20	火	13:30～ 14:30	108研修室	第9回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡	小林、 山田、 長舟		

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等	
12	20	火	14:00～ 17:00	東京臨海広域防災 公園	防災ビジネス研究会・見学会	研 主	笠谷 山田		
	21	水	9:00～ 10:30	209技術相談室	第9回知的財産評価委員会	主	松岡	北島、 小林、 笠谷、 有馬	
	27	火	10:00～	トキタ種苗株式 社	学生企業訪問	協 主	大久保	小林、 荒井、 山田	
1	12	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（フリー3D-CAD & 3Dプリンター入門4回目）～13日	主	丹保		7名参加（市内 7）
	19	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（ミッドレンジ 3D-CAD & 3Dプリンター初級4回目）～20日	主	丹保		6名参加（市内3、 市外2、学生1）
	20	金	14:00～ 16:30	ラーニングコモン ズB	産学官連携セミナー in 埼玉大学（共 催：埼玉りそな産業経済振興財団）	共	小林		
	24	火	10:30～ 10:55	大宮ソニックシ ティ	先端産業創造プロジェクト補助事業ロ ボット部会	県 参	牟田口	綿貫	
	25	水	14:55～ 15:30	大宮ソニックシ ティ	先端産業創造プロジェクト補助事業医療 イノベーション部会	県 参	松岡	横田	
	25	水	9:00～ 10:30	209技術相談室	第10回知的財産評価委員会	主	松岡	北島、 小林、 笠谷、 有馬	
	25	水		有機農場「こだわ り村」	アグリビジネス研究会農場見学会	研 主	大久保		
	27	金	14:10～ 14:45	大宮ソニックシ ティ	先端産業創造プロジェクト補助事業新エ ネルギー部会	県 参	岩佐		
31	火	13:30～ 14:30	108研修室	第10回オープンイノベーションセンタ ー会議	主	松岡	小林、 山田、 長舟		
2	1	水	10:00～ 18:00	さいたまスーパ ーアリーナ	彩の国ビジネスアリーナ（～2日）	県 参	松岡	岩佐、 牟田口、 横田	
	17	金	13:00～ 16:30	本田技術研究所 汎用R & D	4uキャラバン隊	共	大久保		
	22	水	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援業務（3D-CAD上級 F EM解析2回目）～23日	主	丹保		8名参加（市内5、 市外3）

月	日	曜	時間	場 所	内 容	主催/共催 /参加	担 当	実績等
2	22	水	9:00～ 11:30	209技術相談室	第11回知的財産評価委員会	主	松岡 北島、 小林、 笠谷、 有馬	
	23	木	15:00～ 17:00	東京電機大学	PUiP	参	松岡	
	28	火	13:30～ 14:30		第11回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡 小林、 山田、 長舟	
3	1	水	10:00～ 12:00	新都心ビジネス交流プラザ	4u事務局会議	共	小林 大久保	
	7	火	13:30～ 15:00	108研修室	3D研修成果発表会	主	丹保	12名参加
	10	金	13:00～ 18:00	大学会館	学内合同企業説明会（産学官連携協議会会員企業対象）	協	主 小林 荒井、 山田	
	14	火	11:30～ 13:00	大宮ソニックシティ	さいしんコラボ産学官「会員企業表彰選考委員会」	参	小林	
	17	金	15:30～ 17:00	新都心ビジネス交流プラザ	4u運営協議会	共	佐藤 小林、 大久保	
	22	水	9:00～ 10:00	209技術相談室	第12回知的財産評価委員会	主	松岡 北島、 小林、 笠谷、 有馬	
	22	水	13:00～ 17:00	大学会館	次世代自動車研究会セミナー	協	主 笠谷 荒井、 山田	
	23	木	15:00～ 17:00	108研修室	第4回アグリビジネス研究会	研	主 大久保	
	28	火	13:30～ 14:30	108研修室	第12回オープンイノベーションセンター会議	主	松岡 小林、 山田、 長舟	
	30	木	13:00～ 15:00	大学会館	防災ビジネス研究会	研	主 笠谷 荒井、 山田	

産学官連携推進部門の活動報告

●技術相談件数（分野別）

年 度	生物	物理	化学	機能材料	数学	電気電子	情報通信	機械	環境	建設	経済	教育	その他	合 計
平成28年度	4	3	13	13	0	17	19	40	9	5	3	8	6	140
平成27年度	11	1	12	10	0	15	6	29	3	1	2	5	19	114
平成26年度	7	2	19	6	0	19	7	16	10	1	1	3	12	103

●技術相談件数（月別）

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
平成28年度	24	5	18	4	15	19	10	7	9	12	12	5	140
平成27年度	12	14	19	6	5	13	13	12	6	6	3	5	114
平成26年度	17	5	11	10	11	16	3	5	6	8	5	6	103

●外部資金受入 （大学総計）

単位：件、千円

年 度	民間機関等との共同研究		受託研究		奨学寄附金		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成28年度	134	212,097	51	186,689	184	313,909	369	712,695
平成27年度	128	112,414	57	300,062	153	224,603	338	637,079
平成26年度	135	116,666	48	239,523	144	526,456	327	882,645

（オープンイノベーションセンター関与抜粋）

単位：件、千円

年 度	民間機関等との共同研究		受託研究		奨学寄附金		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成28年度	35	34,307	2	3,400	16	8,399	53	46,106
平成27年度	25	21,309	5	8,500	10	5,730	40	35,539
平成26年度	20	25,311	7	11,900	4	3,186	31	40,397

●平成28年度 JSTマッチングプランナープログラム『探索試験』

採択されたシーズ（2件／8件申請）

研究課題	学部・研究科	研究者
炭酸ガスを用いた低VOC塗装装置の開発	大学院理工学研究科	福田武司
傾斜抵抗分布を有する低電流遮断に適したサブストレートヒューズの開発	大学院理工学研究科	山納 康

●戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）

研究課題	学部・研究科	研究者
大腿骨近位部骨折患者の早期離床、寝たきり予防を実現するモジュラー型骨折治療システム及びその生体力学的親和性向上（平成26年～継続）	大学院理工学研究科	森田眞史
色のバラツキが少なく、視認性に優れ疲労軽減特性のある自動車内装照明用LEDの蛍光体層開発（平成27年度～継続）	大学院理工学研究科	綿貫啓一
宇宙産業向けシームレス球形容器の技術開発	大学院理工学研究科	荒居善雄
スモールモビリティ、電動アシスト自転車用非接触給電技術の開発	大学院理工学研究科	金子裕良

●埼玉県産学連携研究開発プロジェクト

採択されたシーズ（2件／10件申請）

研究課題	学部・研究科	研究者
ドローン（UAV）を用いた低層大気観測用ロボットの開発	大学院理工学研究科	王 青躍
人の作業熟練過程に倣った高性能減菌環境下移載ロボットの開発	大学院理工学研究科	綿貫啓一

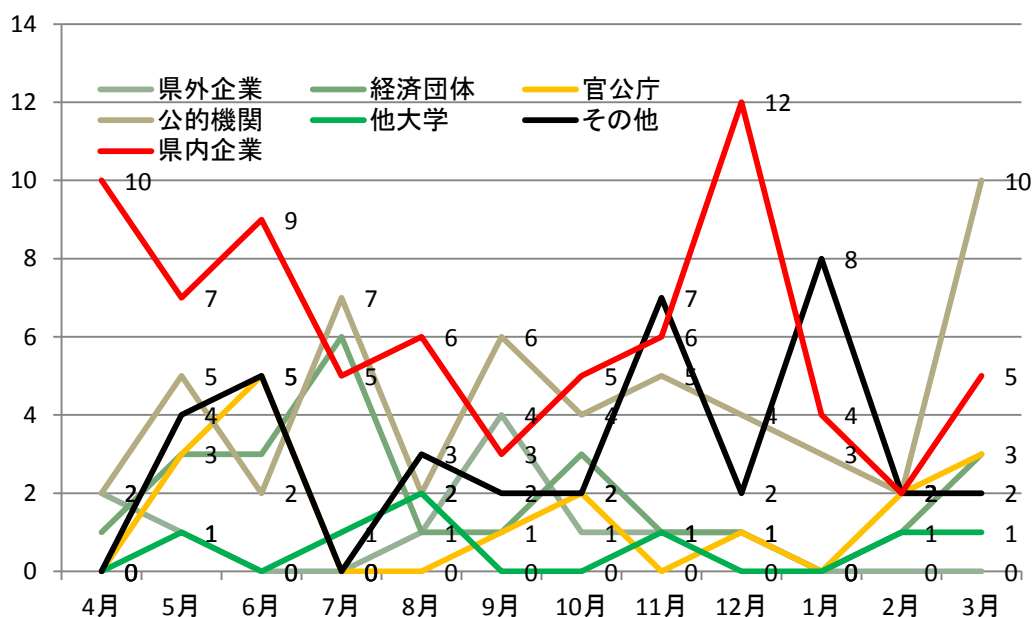
●企業・経済団体・官公庁・公的機関訪問件数（年間）

訪 問 先	件 数 ※
県 内 企 業	74
県 外 企 業	11
経 済 団 体	24
官 公 庁	17
公 的 機 関	52
他 大 学	7
そ の 他 ※	37

※ 件数は、訪問した延べ人数ではなく訪問件数でカウント。

※ 「その他」は各種イベント参加のための会場訪問が多く、主な訪問先は大宮ソニックシティ17件、東京ビッグサイト5件、さいたまスーパーアリーナ3件、以下省略。

●企業・経済団体・官公庁・公的機関訪問件数（月別）



●次世代有機太陽電池開発プロジェクト【新エネルギー分野】

本プロジェクトは平成26年度から開始された。本年度は実用化・事業化に向けて具体的な試作品の作製と評価・検証を主体に取り組んだ。その結果、3年目の取り組みとして計画していた課題は達成したが実用化に向けては新たな課題も明らかとなった。その課題解決のため来年度以降も企業との協力体制を維持しながら取り組んでいく。

1. 塗布型有機薄膜太陽電池の開発

①研究開発内容

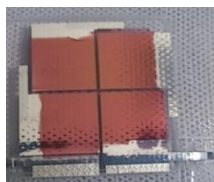
ウェットプロセスの特長を活かした静電塗布成膜技術を応用した薄膜シートを基板とした軽量・薄型・フレキシブルで応用性の高い新型有機薄膜太陽電池の開発

②平成28年度の成果

受光面積の拡大に関しては4cm角フレキシブルPEN基板にて静電塗布成膜素子を作成し31mWの出力を得た。シート化プロセスにおいては低温封止に取組み試作品を完成した。3次元曲面塗布によりドーム型素子においては試作品で変換効率5.4%の達成を確認した。



フレキシブル太陽電池



フレキシブルシート化
有機薄膜太陽電池



ドーム型曲面太陽電池

2. ハイブリッド型有機太陽電池の開発

①研究開発内容

シリコン基板に均一に有機膜を塗布できる成膜技術を応用した簡素なプロセスによる高性能かつ低コストの新型太陽電池の開発

②平成28年度の成果

性能向上のため取り組んでいた銀グリッド（上部・裏面）電極低抵抗化に関しては銀ペーストの2度印刷で抵抗を低減させ、更に裏面にもグリッド電極を設けることでキャリア収集効率の増大を達成した。

PEDOT:PSSの改質・安定性の向上に関して有機絶縁層をコートすることで安定性の向上を達成できた。

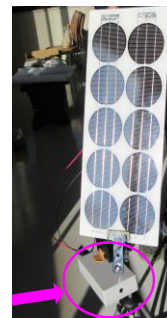
それらをベースとしてセル・モジュールを試作し、4インチ素子10枚直列接続モジュールにて6.2Wの出力を得た。実用化に向けては独立電源型監視カメラの試作に取り組むその稼働状況を確認できたが、信頼性試験に関しては長期信頼性において課題も残した。今後も実用化に向けて企業との協力体制を維持しながら実用化に向け取り組んでいく。



4インチ塗布型太陽電池



2cm角セル10枚接
続モジュール



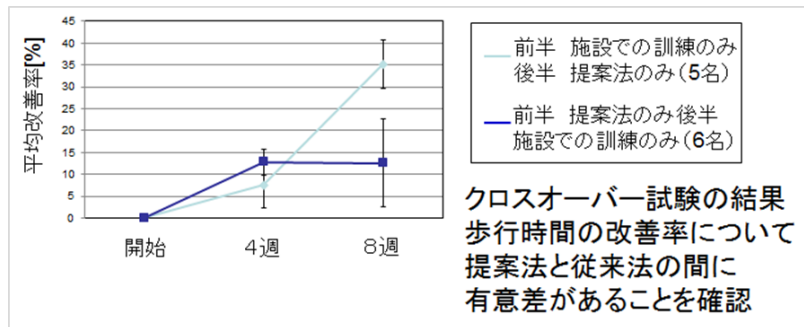
4インチ素子モジュールを搭載した
独立電源型監視カメラ

●生活支援ロボット –リハビリ支援ロボットの開発–

3年目（最終年度）として開発の成果を4点に分けてまとめる。

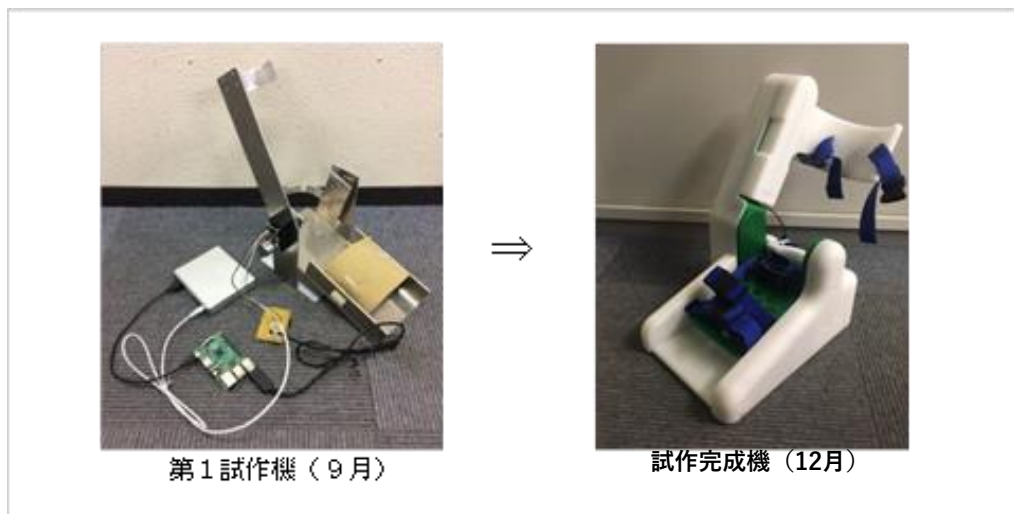
1. 昨年度開発品の効果性の確認

昨年度、足首筋力トレーニングの為に前脛骨筋強化を狙い、座位型を開発しTUGテスト（Time Up and Go test）にて20%を超える改善効果を得た。今年度は従来のトレーニング方法との有意差を求める為に、クロスオーバー試験を実施した。高齢者介護施設にて被験者11名を対象に、2か月間の臨床評価を実施し、有意差を見出した。



2. 高齢者介護施設の要望への対応

訓練等を実施するユーティリティスペースを確保出来ない施設もあり、小型・可搬型の訓練装置を開発した。サーボモーターによる制御の為に、小型PC「Raspberry-P1」を搭載し、PC内の処理で計測した力を可視化して表示するプログラムを構築した。本装置は既に完成し、健常者への評価を実施している。



3. 二重安全化力覚センサーの開発

「力の見える化」はリハビリ現場で被験者のモチベーション高揚の為に必須で昨年度6軸高モーメント型を開発し、既に事業化されている。

ロボット分野では安全担保の為に二重安全化が必要であり、企業様と共同開発を完了し新聞発表に至った。

なお、このセンサーは、平成29年夏に発売開始予定である。

力覚センサ: ワコーテックが医療・介護向けロボットを中心にセンサの事業化を展開



「ロボの制御不全を防止-埼玉大など、力覚センサーに故障診断機能搭載」
日刊工業新聞, 2016年12月21日

4. 事業化に向けて

最終年度として事業化に2つの観点で取り組んだ。

1点目) 本学での開発成果物をベースに販売企業様、ものづくり企業様とNDAを締結し、事業化に向けた擦り合わせを実施した。

2点目) 併せて、本開発品並びに要素技術を広く普及させる為に、訓練実施場面のビデオを作成した。



昨年度版



今年度版

●感染症及びがんの早期検出薬・診断薬の研究開発【医療イノベーション分野】

平成28年度の成果

①感染症

インフルエンザの液体迅速診断では、市販イムノクロマトキットの4倍の高感度検出、分子蛍光検出システムを用いれば1000倍の高感度検出が可能なことを確認した。

②がん

ELISAが可能であることの検証はできたが、市販品と比較すると1桁感度が悪く、再スクリーニング、多価化等の改良が必要である。



●3D-CAD & 3Dプリンター無料研修

高度ものづくり人材育成支援事業として、さいたま市内企業の国際競争力の高度化を図ることを目的として、さいたま市主催及びさいたま市産業創造財団の協力により本年度3年目となる研修会を実施しました。

企業の製品開発では3D-CADによるシミュレーション技術が導入され、3D-CAD及び3Dプリンターの利用により、開発、試作及び設計時間の短縮、機能や信頼性の確認の高度化及びコスト削減が可能となっており、さいたま市内企業の技術者がこれら技術を習得することを目的として開催したものです。

フリーソフト3D-CADの操作研修に加え、本年度は新たに多機能・高性能なFusin360を採用し、併せて3Dプリンター造形を行う入門コース、ミッドレンジ3D-CAD SolidWorksの基礎と3Dプリンターによる3Dサンプルの造形の初級コース及び3D-CADのシミュレーション機能の中級コースを各2日間の日程で行い、更に上級コースとして有限要素法（FEM）解析の研修コースを追加し計12回の研修を行いました。その他、受講者の希望により個別フォローアップも5回実施しました。各コースは、受講者が講師の説明に従い各自のPCを用いて各種3Dモデルの作成も行いました。

（各研修時間：13：00～17：00）

本研修では、さいたま市内企業を優先的に募集し20社からのべ50名、実数で25名の参加があり、さいたま市外企業及び本学を含めると32社のべ108名、実数で58名の方が受講しました。受講企業は、製造業だけでなく建築業、IT関係等の広い業種の方々が参加しました。

入門コースから上級コースの研修は、本学オープンイノベーションセンター108研修室で行い、各コースの受講修了者には修了証書授与を行いました。

	第1回開催日	第2回開催日	第3回開催日	第4回開催日
【入門コース】 7I-3D-CAD &3Dプリンター入門	9月15日（木） 9月16日（金）	10月20日（水） 10月21日（木）	11月24日（木） 11月25日（金）	H29年 1月12日（木） 1月13日（金）
【初級コース】 ミッドレンジ 3D- CAD&3Dプリンター 初級	9月29日（木） 9月30日（金）	10月27日（木） 10月28日（金）	12月01日（木） 12月02日（金）	H29年 1月19日（木） 1月20日（金）
【中級コース】 3D-CAD中級 （機能シミュレ ション）	10月31日（月） 11月01日（火）	12月05日（月） 12月06日（火）		
【上級コース】 3D-CAD上級 （FEM解析）	11月 9日（水） 11月10日（木）	H29年 2月22日（水） 2月23日（木）		



写真1 3D-CAD研修模様



写真2 3Dプリンター出力の様子



写真3 3Dプリンターによる3Dモデルの出力例

本研修では、熱溶解積層法の3DプリンターUP Plus2を使用して、ABS樹脂で各サンプルを出力造形しました。3Dプリンターによる3Dモデル出力例は、受講者が講師の指導のもと造形した3Dモデルです。

受講者アンケートでは、3D-CAD研修に関して講師の教え方が上手く、3D-CAD未経験者でも理解しやすかったとの回答が多く寄せられ、高い満足度評価を受けました。

更に3Dプリンター研修では、技術解説だけでなく、実際に受講者作成の3Dモデルを出力したことで、有意義な体験ができ3Dプリンターの導入にまで進まれた企業もありました。次年度は、受講生アンケートを踏まえより充実した研修を目指してまいります。

平成28年度「3D-CAD&3Dプリンター無料研修」を滞りなく終了することができ、さいたま市及びさいたま市産業創造財団関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

知的財産部門の活動報告

●発明件数の実績

	25年度	26年度	27年度	28年度
発明件数（件）	68	58	42	64

●特許取得及び管理状況の実績（実用新案含む）

【国内】	25年度	26年度	27年度	28年度
出願件数（件）	60	49	37	53
登録件数（件）	31	46	30	34
消滅件数（件）	33	3	19	12
保有件数（件）	162	202	214	263

※保有件数は外国保有を含む

●知的財産権ライセンス等収入実績

【実施許諾】	25年度	26年度	27年度	28年度
件数（件）	4	8	20	22
金額（千円）	1,803	1,377	1,343	1,966

【譲渡】	25年度	26年度	27年度	28年度
件数（件）	15	1	0	3
金額（千円）	7,687	205	0	0

※共有特許持分を共有先に移転を含む

※知的財産権とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、その他（育成者権、回路配置利用権、ノウハウ等）とし、MTA（試料提供契約）を除く。

埼玉大学産学官連携協議会の活動報告

アグリビジネス研究会

代表：高木優 大学院理工学研究科 教授

事務局：大久保俊彦 産学官連携シニアコーディネーター

アグリビジネス研究会は、都心と良好な位置関係にある埼玉県のメリットを活かしたアグリビジネスについて考察し、実践的なビジネス展開が出来るシステム構築についての開発研究や埼玉県が展開している多様なリサイクルシステムに関するノウハウを活用しバイオマスの有効利用を検討するものです。

平成28年度は活動2年目で、新たな企業会員も加わり、アグリビジネスに関し広範な情報交換及び関連開発研究に以下のように取り組みました。

(1) 研究会の開催

第1回研究会を8月3日開催し、アブラヤシ肥料化実験計画と分析結果の報告・論議並びに本学池田先生から「遺伝子を使って植物の性質を改変する」と題して講演いただきました。

新入会員もあり、今年度本研究会の開始でもあり、本研究会が狙うアグリビジネスの方向性を確認しました。

第2回は、アブラヤシプロジェクトの集中検討会として10月21日開催し、東南アジアを主に海外事業に精通する専門家として高砂熱学工業(株)国際事業本部の井上義之氏を迎え「インドネシアをはじめとした東南アジアのバイオマスの現状」と題し講演いただくと共にアブラヤシプロジェクトの具体的活動方策をアドバイスいただき、皆で今後の取り組み方策などを議論しました。

第3回は、1月25日、川越で有機農業を実践する(有)産直グループこだわり村の見学会を開催しました。

第4回は、3月23日開催し、今年度活動を振り返ると共に次年度に向けた活動の協議並びに新規会員となられた(株)松下設計様に「自社概要及び廃校を活用したビジネス」を紹介いただきました。

(2) アブラヤシプロジェクト可能性の検討

アブラヤシ残渣バイオマスの肥料化実験を行いその成分を把握すると共にその実践フィールドをインドネシアに絞り込むなど、内容も具体化してきました。

インドネシア現地の事業者とのパイプもできましたので、今後は現地ニーズをつかんで実効ある取り組みとなるよう活動を加速していきたいと考えています。



防災ビジネス研究会

代表：藤池一誠 株式会社デザン 代表取締役社長
コーディネーター：笠谷昌史 産学官連携シニアコーディネーター
事務局：山田涼子 オープンイノベーションセンター事務補佐員

「防災ビジネス研究会」は、産学官の持ちうる防災・減災への有用情報を広く周知するビジネススキーム確立に向けて活動を進めました。

平成28年度は6月7日に、国立研究開発法人防災科学技術研究所副部門長 白田裕一郎氏から、組織横断型での災害情報共有・利活用をテーマに、情報共有・利活用手法、技術標準化、組織定着化等の発表、意見交換を行いました。

また、12月20日に東京臨海広域防災公園見学会を実施し、課題解決に向けての災害発生行動処方等について貴重な見学会となりました。平成29年3月30日に研究会を開催し、平成28年度活動総括、テーマ具体化へのアンケート、分科会設置への意見交換を行いました。

引き続き、各会員の保有情報やリソース確認、各専門分野融合、情報提供・共有、相互連携により具体的テーマの絞り込みを行い、防災情報ビジネススキーム構築に向けて活動していくこととしました。



東京臨海広域防災公園見学の模様

次世代自動車研究会

代表：金子 裕良（理工学研究科教授）

コーディネーター：笠谷昌史 産学官連携シニアコーディネーター

事務局：山田涼子 オープンイノベーションセンター事務補佐員

「次世代自動車研究会」は、これまで埼玉次世代自動車環境関連技術創出センター（通称 NeCST）の研究成果を踏まえ、自動車関連技術の開発推進・普及および情報発信を目的に新たに発足しました。

平成29年3月22日に大学会館ラーニングcommonsにおいて、「次世代自動車のキーテクノロジー」をテーマに、要素技術分野の最新動向について、株式会社豊田中央研究所、株式会社本田技術研究所、カルソニックカンセイ株式会社からそれぞれ次世代自動車モビリティーに関連した講演いただき、セミナーを開催しました。

これまでの事業参画企業、協議会会員に広くセミナー参加を呼びかけ、学内関係者含めて50名近い参加者があり、関心の高さが伺え、種々意見交換を行いました。

引き続き、研究会メンバーの相互連携及び幅広い関連分野からの参加も得ながら、専門家によるセミナー等の開催により、埼玉地域の自動車関連技術の向上、普及、技術開発に向けた研究推進のため、諸活動を進めていくことを確認しました。



セミナーの様子

COICの運営と組織

●運営と組織

【名称】

埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンター
(Comprehensive Open Innovation Center)

【所在地】

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
TEL:048-858-9354 (直通) FAX: 048-858-9419
E-mail:coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp
HP:http://www.saitama-u.ac.jp/coic/

【設立】

平成20年9月1日

【目的、業務】

国立大学法人埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンター規程 (抜粋)

(目的)

第2条 センターは、企業等の法人、地方公共団体等公的機関、他大学など（以下外部機関等という。）との共同研究及び研究交流を推進するとともに、本学における知的財産の創出、取得及び管理並びに技術移転の促進を図り、地域の企業等における技術革新、生産革新、経営革新、事業革新、情報革新、組織改革等のオープンイノベーションに対して中核機関として貢献することにより、本学の教育研究の進展に寄与するとともに地域社会の産業、文化、福祉及び教育の向上に資することを目的とする。

(部門)

第3条 センターの業務を実施するために、次の部門を置く。

- (1) 産学官連携推進部門
- (2) 知的財産部門

(業務)

第4条 センターにおいては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 産学官連携戦略の企画及び推進
- (2) 外部機関等との連携の推進
- (3) 外部機関等との共同研究及びプロジェクトの推進
- (4) オープンイノベーションの醸成
- (5) 知的財産の管理及び創出・取得の推進
- (6) 技術移転の推進
- (7) ベンチャー起業に関する啓発・教育等による本学発ベンチャー企業への支援
- (8) その他センターの目的を達成するために必要な業務

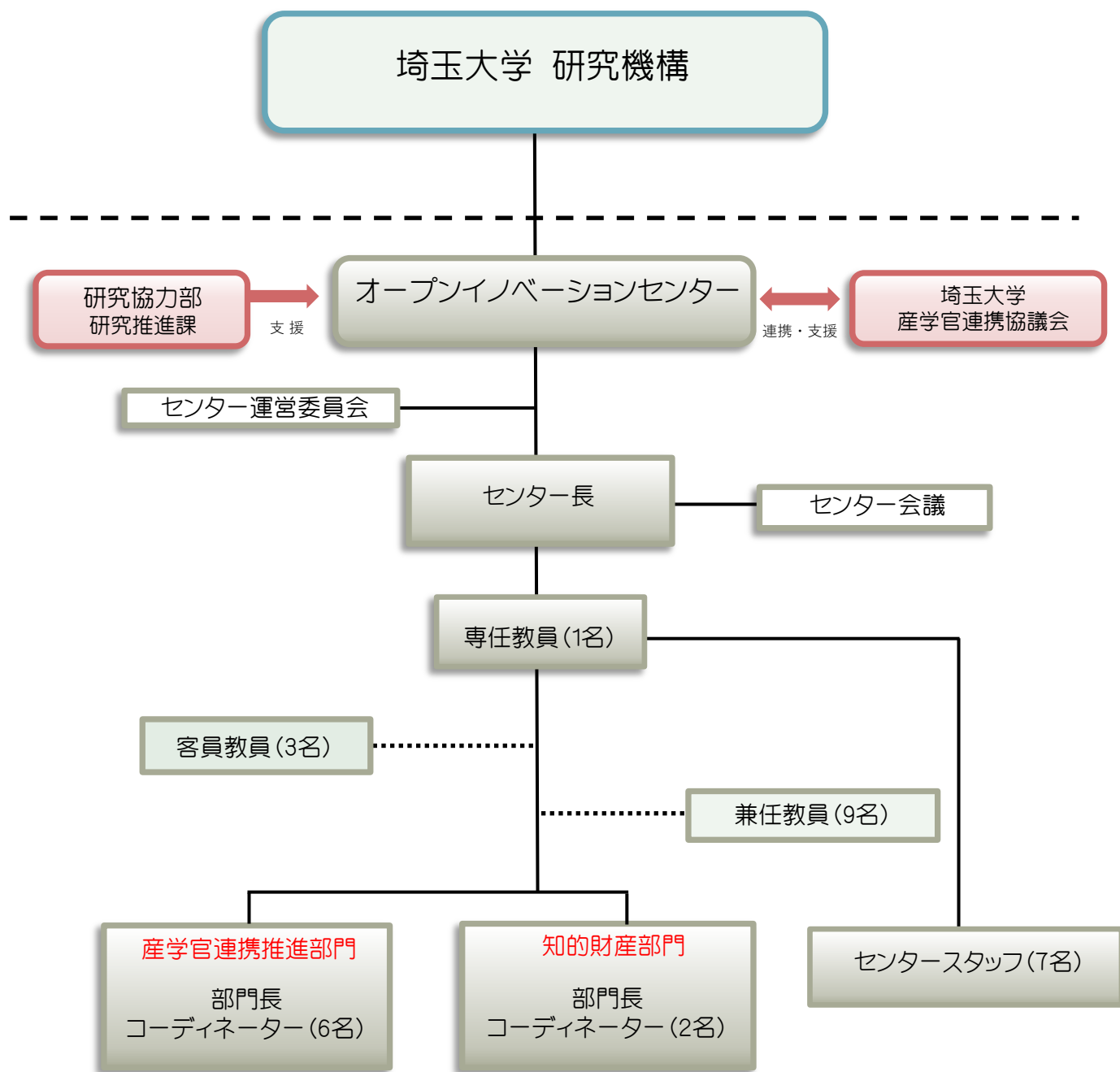
【埼玉大学の主たる研究分野等】

①企業内教育 ②経営 ③都市工学 ④環境 ⑤建設・土木 ⑥地震・地球科学 ⑦分析・評価・測定
⑧生体・化学 ⑨脳 ⑩素材・機能デバイス ⑪加工・生産技術 ⑫熱・流体・振動 ⑬メカトロニクス・計測・制御・ロボット ⑭コンピュータ応用・知識情報 ⑮電気・電子・部品・装置 等

職 名	スタッフ	主要業務等
センター長／ 知的財産部門長	松岡 浩司（教授）	統括、管理、監督、企画、運営、 計画推進、実施、知的財産管理 運営など
副センター長／ 産学官連携推進部門長	小林 裕一（教授）	統括、管理、企画、運営、計画 推進、実施、地域連携など
客員教授	根岸 茂文（～平成28年9月30日）	技術相談、研究支援、知的財産 支援、技術移転支援など
	室久保 貞一	
	中村 雅範	
兼任教員	鎌田 憲彦（教授）	産学官連携推進、センターの オープンイノベーション醸成、 運営助言など
	白井 肇（教授）	
	久野 義徳（教授）	
	金子 裕良（教授）	
	長谷川 孝明（教授）	
	久保田 尚（教授）	
	辻 俊明（准教授）	
	石丸 雄大（准教授）	
小林 貴訓（准教授）		
知的財産シニアコーディネーター	北島 恒之（特命教授）	特許等知的財産創出、知的財産 申請・出願、知的財産管理、特 許紹介、技術移転、知的財産管 理データベース管理など
	有馬 百子	

職 名	スタッフ	主な具体的業務等
産学官連携シニアコーディネーター	大久保 俊彦 (特命教授)	技術指導、技術相談、共同研究・受託研究のコーディネート業務、研修、イベント出展、地方自治体との連携、研究会支援、地域企業連携、広域企業連携、産学連携イベントの企画・運営、イノベーション土壌の開拓、地域大学間連携、首都圏北部4大学連合(4u)活動協力、埼玉大学産学官連携協議会事業支援、オープンイノベーション醸成、3D CAD～3Dプリンター基礎研修業務運営など
	笠谷 昌史	
	丹保 仁志	
	岩佐 徳昭	
	横田 一郎	
	牟田口 照恭	
事務補佐員	日下 明美	先端産業創造プロジェクト関連事務、3D CAD～3Dプリンター基礎研修関連管理事務、出納業務、勤務管理、備品管理、イベント出展補助、刊行物作成業務、オープンイノベーションセンター研究棟施設の管理、特許管理事務、ホームページ管理、受付、郵便物管理、埼玉大学産学官連携協議会事業支援など
	今 真紀	
	藏田 礼絵	
	荒井 達男	
	山田 涼子	
	平本 三菜子	
	長舟 葉子	

●体制図



●歴代センター長一覧

	氏 名	期 間
初代	一國 雅巳 教授	平成6年6月24日～平成8年3月31日
2代	河西 敏雄 教授	平成8年4月1日～平成10年3月31日
3代	山田 興治 教授	平成10年4月1日～平成12年3月31日
4代	坂本 和彦 教授	平成12年4月1日～平成14年6月9日
5代	睦好 宏史 教授	平成14年6月10日～平成16年3月31日
6代	加藤 寛 教授	平成16年4月 1 日～平成18年3月31日
7代	高田 進 教授	平成18年4月1日～平成20年2月27日
8代	中山 重蔵 理事	平成20年2月28日～平成20年3月31日
9代	太田 公廣 教授	平成20年4月1日～平成22年3月31日
10代	川橋 正昭 理事・副学長	平成22年4月1日～平成24年3月31日
11代	大澤 清一 教授	平成24年4月1日～平成26年3月31日
12代	綿貫 啓一 教授	平成26年4月1日～平成28年3月31日
13代	松岡 浩司 教授	平成28年4月1日～

ご案内

●技術相談について

本学では、企業の抱える技術的課題に対するご相談（技術相談）を随時受け付けています。いつでもお気軽にオープンイノベーションセンターまでご連絡ください。

TEL : 048-858-3849
E-mail : sangaku@ml.saitama-u.ac.jp

<技術相談のメリット>

企業

- ・共同研究に比べ手軽に利用できる。
- ・短期移管に有益なアドバイスが得られる。

大学

- ・実用性のある研究ができる。
- ・自分の専門を生かせる。
- ・企業のニーズや最近の動向がわかる。

研究・技術相談申込書			
Email : ocic-sangaku@ml.saitama-u.ac.jp			
FAX : 048-858-9419			
埼玉大学 研究機構 オープンイノベーションセンター 行			
申込者情報		年 月 日	
貴社名			
部署・役職名	ご担当者		
Email			
所在地			
電話	FAX		
従業員数	資本金		
URL			
相談内容			
相談分野	<input type="checkbox"/> 生物 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 電気電子 <input type="checkbox"/> 情報通信 <input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 経営 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他		
希望教員	ご希望の教員がございましたらご記入ください		
きっかけ	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> シーズ集「埼玉大学 研究シーズ集 2016-17」 <input type="checkbox"/> 社縁関係からのご紹介 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> その他		
相談内容	会社概要、相談に至る背景、問題点などについて詳細にご記入ください		
希望すること	アドバイス希望が共同研究までを希望されるのをご記入ください		

「埼玉大学研研究シーズ集 2016-17」等で研究内容をお調べいただくことも可能です。「埼玉大学研研究シーズ集 2016-17」をご希望の場合はお申しつけください。

測定・分析は、科学技術分析支援センターで有償で対応可能です。

学内で対応可能な教員が不在の場合には首都圏北部4大学連合（4u）等のネットワークを通じて他大学の教員を紹介することも可能です。

オープンイノベーションセンターでは、企業経験のあるコーディネーター等が対応しています。声をかけていただくことで、産学官連携のきっかけとなり地域社会の発展にお役に立てることを願っています。

●共同研究について

共同研究は、民間機関等の研究者と大学の教職員とが、契約に基づき、対等の立場で共通の課題について研究に取り組み、優れた研究成果が生まれることを促進する制度です。

研究形態

(1) 埼玉大学における共同研究

民間等から研究者及び研究経費等を受け入れ、本学の教職員と民間機関等の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究です。

(2) 埼玉大学及び民間機関等における共同研究

民間等から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れ、大学及び民間機関等が、共通の課題について分担して行う研究です。

(3) 民間等共同研究員

民間機関等において、現に研究業務に従事しており、共同研究のために在職のまま大学に派遣される方です。

研究経費

(1) 直接経費

共同研究遂行のために、特に必要となる謝金・旅費・研究支援者の人件費、消耗品費、光熱水量等の直接的な経費です。

(2) 民間等共同研究員の方の研究料

民間等共同研究員の方を大学に受け入れることにより必要となる経費です。
(1人あたり年額420,000円)

(3) 間接経費

共同研究遂行のために必要となる直接経費以外の経費で、原則直接経費の10%を負担していただきます。

設備等

(1) 帰属

- ① 負担いただいた共同研究に要する経費等により、大学が新たに取得した設備等は、大学の所有に属します。
- ② 民間機関等における共同研究に要する経費により、民間機関等が新たに取得した設備等は、民間機関等の所有に属します。

(2) 設備等の利用

研究の遂行上必要な場合は、大学が民間機関等の所有する設備等を受け入れ、共同で使用することができます。なお、この場合の搬入搬出に係る経費は、原則として民間機関等のご負担となります。

研究期間

- (1) 研究期間は特に制限はなく、複数年締結することもできます。
- (2) 共同研究が複数年にまたがる場合は、具体的な年次計画を策定し、十分な打合せを行ってください。

手続

- (1) 申込
本学の研究代表者が所属する組織の長（学部長等）に「別紙様式：共同研究申込書」等を提出してください。
- (2) 受入の決定
申込を受けた組織（学部等）の審議機関において、共同研究の実施に関する必要な事項について審議を行い、受入を決定します。
- (3) 共同研究契約
共同研究契約は、組織（学部等）を統括する学長と民間機関等の代表者等との間で締結します。

公表と特許等

- (1) 公表
共同研究における研究成果は、原則公表としていますが、公表の時期・方法については、特許権等の取得の妨げにならない範囲において契約書で定めることとなります。
- (2) 知的財産権の取扱い
知的財産権については、原則共有とし、本学と共同出願することとなります。この場合、持分は本学と協議の上、決定することとなります。
また、その共有知的財産権は、企業等又は企業等の指定する者に限り、出願した時から一定期間（契約時に設定）を超えない範囲内において独占的に実施することができます。

●各種イベントでの当センターPR用ポスター

埼玉大学オープンイノベーションセンター

技術動向について
教えて欲しい

XX教授に
相談したい

経営についての
助言が欲しい

お気軽にご相談ください

オープンイノベーションセンターは
産学官連携におけるリエゾンオフィス
として、大学の研究成果を広く社会に
還元する活動を進めています。

大学の特許を
使用したい

開発するための
アドバイスが欲しい

〇〇技術開発の
共同研究をしたい

大学発の新
技術を導入
したい

競争的資金に
申請したい

- ・まずはコーディネーターにご連絡ください。(無料)
- ・ふさわしい研究者をご紹介できるよう親身になってご相談に応じます。
- ・開放特許をWEBで公開しています。技術移転についてもご相談ください。

私達がお手伝いします

対応可能学科:

工学部(機械工学科、電気電子システム工学科、情報システム工学科、応用化学科、機能材料工学科、建設工学科、環境共生学科) / 理学部(数学科、物理学科、基礎化学科、分子生物学科、生体制御学科) / 教養学部 / 経済学部 / 教育学部

オープンイノベーションセンターは

- 産学官連携推進部門 及び
 - 知的財産部門 の2部門からなります。
- 具体的な活動としては、本学研究シーズの紹介、技術相談、共同研究の実施支援、知的財産の紹介・活用、外部機関との連携等を行っております。

技術相談から共同研究等への流れ

研究・技術相談申込



オープンイノベーションセンター
産学官連携推進部門

☎ 048-858-3849 ☎ 048-858-9419
✉ coic-sangaku@ml.saitama-u.ac.jp

教員との技術相談

共同研究

受託研究

奨学寄附金

WEBサイト

<http://www.saitama-u.ac.jp/coic/>

●埼玉大学産学官連携協議会紹介パンフレット

埼玉大学産学官連携協議会

- 埼玉大学産学官連携協議会は、平成12年に埼玉県内の経済団体*と埼玉大学が設立発起人となり、協議会会員企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立された任意団体です。
- 本協議会では、協議会会員企業等の経営者および技術者と埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学からの各種情報発信、また共同研究等への発展が期待される課題解決に向けた研究会活動などを行っています。
- *埼玉県経営者協会、埼玉経済同友会、埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、埼玉県中小企業振興公社(現埼玉県産業振興公社) 法人格名略

会員のメリット



① 本協議会の研究会に参加できます！

活動中の各研究会が、ご参加をお待ちしています。

- ①アグリビジネス研究会
- ②防災ビジネス研究会
- ③次世代自動車研究会



② 産学交流会(テクノカフェ等)に参加できます！

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場に参加できます。



③ 埼玉大学の学生採用のチャンスがあります！

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力発信する機会(企業説明会)に参加できます。<年1回>



④ 埼玉大学科学分析支援センターが活用できます！

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を協議会会員料金(規定の1/2)でご利用いただけます。



⑤ 企業活動に役立つ最新情報をお届けします！

ニュースレター(年2回発行)とインフォメーションメール配信により研究シーズや会員企業紹介・最新のイベント情報などをお届けします。

入会のご案内

会員

1. 正会員は、本会の事業に賛同する団体または個人とします。(企業規模、業種にかかわらず入会することができます)
2. 公的な団体及び地方自治体等は、賛助会員として入会することができます。

年会費

1. 正会員：1口3万円を1口以上 / 2. 賛助会員：無料

お申込み方法

埼玉大学産学官連携協議会の趣旨に賛同され、入会をご希望の方は、入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局あてにFAXまたは郵送してください。担当よりあらためて連絡いたします。

📄 申込書は裏面です

■お問合せ

埼玉大学産学官連携協議会事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 (オープンイノベーションセンター内)

電話：(048)714-2001 Fax：(048)858-9419 E-mail：coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp

URL：http://www.saitama-u.ac.jp/coic/kyoug/